

八多小学校だより

平成30年度
11月号
神戸市立八多小学校



こころをひとつに ～ともに創り上げる喜びを～



急に気温が下がり、「暑い、暑い」と言っていたのが、うそのように朝晩めっきり冷え込むようになりました。気温の変化についていけず、体調を崩す子供が出てこないか心配です。音楽会まであとわずかとなりました。ご家庭での健康管理をよろしく願いいたします。

10月4日、5日に行いました幼小中授業公開デイズには、お忙しい中、たくさんの保護者の皆様にお越しいただきました。「授業参観だけではなく、休み時間の様子も見ることができてよかった」などのご意見も頂戴しました。子供たちが普段どのような学校生活を送っているかご覧いただけたかと思います。

さて、音楽会に向け、最後の練習・細かな調整がどの学年もされています。毎時間音楽ホールや教室からきれいな歌声や楽器の音色が聞こえてきます。クラス、学年が心をひとつに取り組んでいます。一人ひとりがめあてをしっかりと持ち取り組み、日ごとに子供たちの変化を感じることができます。大きな行事を経験することで、確実に子供たちは成長しています。そして、改めて子供たちの持っている力のすばらしさを感じます。

初めは自分の演奏で精一杯でも、練習の中で他のパート、他の楽器がどんなメロディーを奏でているかを知り、自分と違うメロディーも聴けるようになっていきます。音を一つにするということは、心を一つにするということと同じことなのです。全員が一つのことに向かって心を一つにできたとき、音も一つになります。そして、音が一つになったときの喜びを味わえるようになってほしいと思います。

1年生のときはみんなで同じメロディーを歌い、演奏していた子供たちが、5・6年生になると、合唱では2部に分かれ、合奏でもそれぞれが違ったメロディーを奏でられるようになります。そしてただ楽譜を演奏するのではなく、速度、強弱、曲想を考えて演奏します。

どの学年もはじめは上手にリズムが取れなかった子供たちも、練習を重ねるうちに、できるようになり、音がそろったとき「やった！」と表情が輝きます。時にはなかなかうまくいなくて投げ出したくなる時も、友達の声かけ、担任の声かけ、おうちの人の応援に支えられここまでがんばってきました。一緒に演奏する仲間、指揮の先生、温かい目と耳と心で聴いてくださる会場の方々がいる、初めて一つの曲が完成します。演奏する子供たちと客席で聴いてくださる方々と一つになり、素敵な音楽会になることを願っています。音楽会当日は、緊張しているでしょうが、演奏が終わったときの表情はどの子もきらきら輝いていることでしょう。温かな、大きな拍手をお願いいたします。どうか子供たちの奏でる音色に身をゆだね、と一緒に音楽会を盛り上げていただければと思います。

校長 小原 耕司

1年生 パワーアップ中！！

入学してから、早くも半年が過ぎました。初めてのことがいっぱい1年生ですが、ひとつひとつ頑張っ、力を伸ばしています。

2学期になってからは、運動会で「USA」を踊り、グラウンドを全速力で走りました。今の目当ては、音楽会！！歌と合奏に加えて、音楽劇のセリフにも挑戦。全身にあふれる力を発揮して、感動の嵐を巻き起こすべく、練習に励んでいます。

生活科の学習では、「ひろがれえがお」と題して、家のお手伝いを経験して、できることを増やしていこうという学習が始まります。手始めに、「おうちの人が笑顔になることをインタビューしてきましょう。」と宿題を出すと、「パパは、僕が笑ったら喜んでくれます。」「食器をきれいに洗ったら、おばあちゃんがにっこりしたよ。」「ぼくがご飯をおかわりしたら、お母さんが喜んでくれるから、うれしいよ。」などなど、ご家庭の温かさが伝わってくる内容で、担任もほっこり。子供たちの元気の源は、これだな！と、納得しました。

おうちの人のあったかパワーで、1年生はますます成長していきます！！

担任 横山 倫子